

# コーポレート・ガバナンス

ガバナンスの取り組みに関する詳細は Webサイトをご覧ください。



## 基本的な考え方

当社グループは、公正な事業活動を通じて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組むことが、株主・投資家の付託に応える企業経営の基本的使命であると考えます。加えて、お客様、お取引先様、地域社会、行政自治体、従業員、地球環境といった株主・投資家以外のステークホルダーに対する責任も遂行していかなければなりません。

このような考え方に基づく企業経営の実践にあたっては、「意思決定の迅速化と的確性の確保」、「経営の透明性向上」、「ディスクロージャー（情報開示）およびIRの充実」、「コンプライアンス体制を含むリスクマネジメントの強化」等のコーポレート・ガバナンスの確立が不可欠であると認識し、マネジメントシステムの刷新等を通じて、取り組みの強化および充実を推進しています。

## コーポレート・ガバナンス

### ● 経営体制

#### 統治組織の全体像

当社グループは、取締役会による適正な経営管理を確保しつつ、監査役会による経営チェック機能を活用するために、監査役会設置会社を採用しています。

これらの機能を十分に発揮するため、業務執行に対する独立した立場から監督が行われることを期して、社外取締役を複数名選任しています。また各専門分野から多面的な監査が行われることを期して、監査役会の半数を占める社外監査役を選任し、幅広い知識と見識に基づく助言や提言を得るとともに、経営の透明性や健全性の高い企業統治体制としています。

また、執行役員制度を採用し、意思決定（取締役会）と業務執行を分離することにより、適切な経営管理と効率的な業務執行の両立を図るとともに、常勤の取締役および執行役員で構成する経営会議を設置し、社長の業務執行に資する機関として経営の重要事項について審議しています。

#### 取締役および取締役会

取締役会は、会社の経営戦略や方針および目標を設定、または実現するために具体的な計画を樹立し、経営全般にわたる基本事項を定めます。社内の諸課題を解決する方策を提示する権限を有し義務を負うとともに、代表取締役をはじめ、他の取締役および執行役員の職務を監督する権限を有し、その責任を公正に追及する義務を負っています。

取締役の員数は、迅速かつ適切な意思決定の実施および取締役会が負う義務の範囲を勘案し、社外取締役を含む9名以内としています。取締役の任期は1年とし、再任を妨げないものとします。

#### 責任限定契約の内容の概要等

当社グループは、社外取締役および社外監査役との間において、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結し、会社法第425条第1項に定める額を責任の限度とします。

#### 監査役および監査役会

監査役会は会社法が求める責務を履行し、客観的な立場からの経営監視の役割を担うことを目的とします。常勤監査役は取締役会への出席に加え、経営会議をはじめとする重要な会議に出席し、業務執行の適法性および違法性に関する監査を実施しています。また社外監査役は、取締役会において意思決定の適法性および違法性について適宜質問し、意見を述べています。

監査役の員数は、会計監査および業務監査の実効性の確保を勘案して、4名以内としています。このうち半数以上を社外監査役とします。

当社グループは、監査役職務を補助する組織を設け、監査役会の主導で職務を遂行する専属の従業員を配置します。

また、当該使用人の取締役からの独立性および監査役の指示の実効性を確保するため、当該従業員の任命および異動に関しては、事前に監査役会と協議するものとしています。

#### 社外取締役および社外監査役

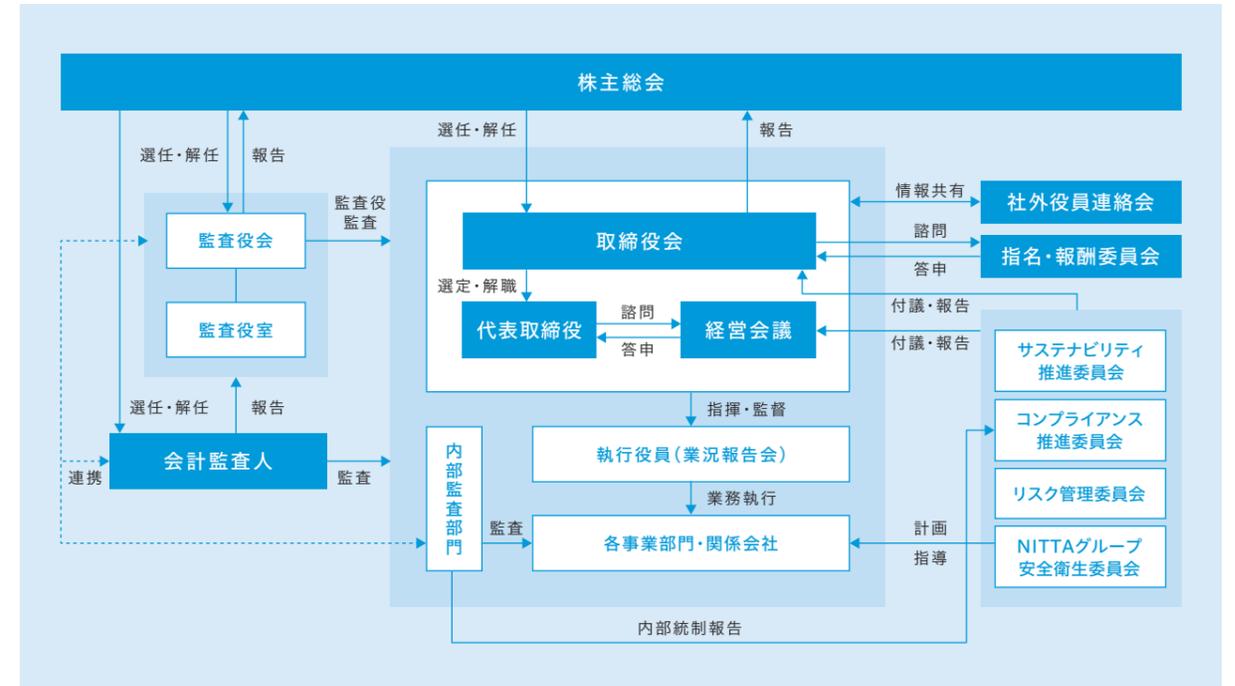
専門分野を含めた幅広い経験や見識を当社グループ経営の意思決定に反映させるため、また公正中立な立場で業務執行の妥当性を監督するため、社外役員を選任しています。

また、当社グループは社外役員の独立性に関する基準に関しては、2010年の東京証券取引所の定める「上場管理等に関するガイドライン」における社外役員の独立性に関する判断基準に準拠しています。2012年に東京証券取引所が改正した上場規則における属性情報についても、同様の対応としていますが、選任にあたっては当社グループで軽微基準を設定し、それに基づいています。

#### 指名・報酬委員会

当社グループの指名・報酬委員会は、社外取締役3名、社内取締役2名で構成されています。また、委員長は社外取締役が務めています。指名・報酬委員会は取締役会の諮問を受けて、取締役選解任候補者の審議や人材開発プログラム、並びに取締役の報酬制度や報酬水準およびその配分等について審議し、取締役会に答申します。

### ▼ ニッタグループコーポレート・ガバナンス体制図



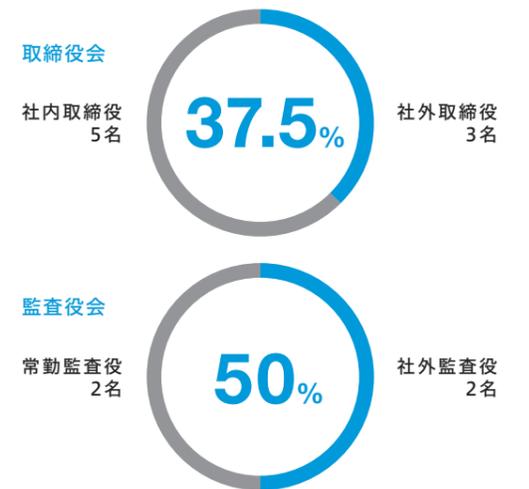
### ▼ 取締役会、監査役会、指名・報酬委員会の出席メンバー

取締役・監査役名		取締役会	監査役会	指名・報酬委員会
取締役会	代表取締役会長 石切山 靖順	◎		○
	代表取締役社長 北村 精一	○		○
	取締役 萩原 豊浩	○		
	取締役 泉 敦	○		
	取締役 懸上 耕一	○		
	取締役(社外) 豊島 ひろ江	○		◎
	取締役(社外) 池田 剛久	○		○
取締役(社外) 小野 友之	○		○	
監査役会	常勤監査役 福若 克博	○	◎	
	常勤監査役 森下 敏彦	○	○	
	監査役(社外) 松浦 一悦	○	○	
	監査役(社外) 大神 哲明	○	○	

◎：議長    ○：出席メンバー

※2025年6月26日現在

### ▼ 社外者の割合



### ● 取締役会の実効性についての分析・評価

当社グループでは取締役会の実効性について、社外を含む全ての取締役および監査役に対してアンケートを実施し、その結果を取締役に報告しています。その概要は以下の通りです。

- 取締役会の運営（開催頻度・審議項目数・資料の事前検討時間等）は概ね適切である。
- 取締役会では、社外取締役や監査役が自由に意見を述べることのできる状況が確保されている。

左記2項目からも分かるように、肯定的な評価を得ており、取締役会の実効性が概ね確保できていると分析・評価しています。一方で、「より柔軟な会議時間の設定」、「取締役会付議基準の見直し」、「社会の変化に応じた研修等の実施」を求める意見がありました。

これらの意見を踏まえて、取締役会の実効性のさらなる向上に取り組んでいきます。

# コーポレート・ガバナンス

コンプライアンスに関する詳細は Webサイトをご覧ください。



## コンプライアンス

### ●コンプライアンス体制

当社グループでは、取締役会の諮問組織として「コンプライアンス推進委員会」を設置し、委員会の下に「コンプライアンス推進部会」を設置しており、内部統制およびコンプライアンス推進を徹底するための実務的な検討および企画を行っています。コンプライアンス推進部会は原則月1回開催し、次の事項に関する職務を行います。

#### ▼コンプライアンス推進委員会

委員長	代表取締役会長
副委員長	代表取締役社長
委員	取締役、監査役、執行役員、委員長が指名する者
事務局長	総務CSR担当役員
事務局	総務CSRグループ

1. コンプライアンス推進に関する基本方針・社内規程等の制定・改廃案の策定
2. コンプライアンス推進計画案の策定、進捗管理、評価
3. 内部監査結果の共有化と改善取り組みに関する事項
4. コンプライアンス事案への対応
5. 当社の事業に関係する法令の制定・改廃および行政や社会の動向の調査・研究
6. コンプライアンス・プログラムの策定、実施
7. 当社グループのコンプライアンス推進状況のステークホルダーへの情報開示
8. その他コンプライアンス推進に関する各部門への指示・情報連携

### ●コンプライアンスに関する重点取り組み事項

#### 贈賄行為の禁止徹底

「NITTAグループ行動憲章」において「法令等の遵守」「公正な取引」「企業倫理推進体制の構築」を掲げるとともに、「NITTAグループ贈賄防止方針」を制定し、公務員等に対する贈賄等を禁止し、違反行為の未然防止に努めています。

#### 反社会的勢力排除に向けた取り組み

当社グループは、反社会的勢力排除に向け、市民生活や企業活動の秩序や安全に脅威を与える勢力および団体には法令に基づき毅然として対処します。その旨を「NITTAグループ行動憲章」に定め、反社会的勢力とは一切の関係を遮断するとともに、これらの活動を助長するような行為は一切行わないと定めています。

反社会的勢力による不当要求等への対応を所管する部署を総務CSRグループとし、事案発生時の報告および対応に係るマニュアル等の整備を行い、反社会的勢力には警察および全国暴力追放運動推進センター等の関連機関と連携を図り、組織的に対処します。

#### インサイダー取引の未然防止に向けた取り組み

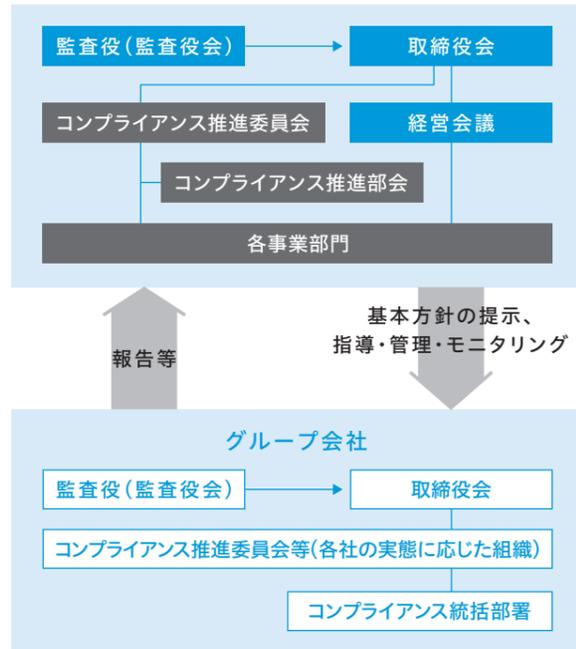
当社グループは、役員等による金融商品取引法第166条および同法第167条の遵守を確保するために「NITTAグループ行動憲章」において未公表の情報に基づき、株式等の売買は行わないこととしています。また、「重要情報の管理および開示規程」および「インサイダー取引防止規程」において情報管理体制の整備を行い、不正取引を排除しています。

### ●コンプライアンス教育

コンプライアンスの要となる管理職および従業員に対する教育を毎年開催しています。また、隔月ごとに当社グループ全ての国内社員を対象とするコンプライアンス教育資料の提供を行い、各職場におけるコンプライアンスの実践を支援しています。

また、日本証券業協会のJ-IRISSに役員に関する情報を登録し、インサイダー取引等の法令違反の未然防止、証券市場の信頼性確保に協力しています。

#### ▼コンプライアンス体制イメージ図



### ●モニタリング

当社およびグループ会社の内部監査等により、企業活動の中に潜む既存または新規のコンプライアンスリスクを、顕在化する前に発見するよう取り組んでいます。

### ●内部通報制度

当社国内・海外グループ会社の役員、監査役、社員、パートタイマー、嘱託および派遣社員を含む全ての従業員に加えて退職者(1年以内)、取引先の役員を対象に、当社グループ内の組織的または個人的な不正行為の未然防止、早期発見、是正を目的として、専門窓口に通報できる内部通報制度を導入しています。

通報者は、Webフォーム、フリーダイヤル、メールもしくは書面で通報でき、専門窓口は経営陣から独立した外部機関を介しているため、通報者の保護が徹底されています。

## リスクマネジメント

### ●リスクマネジメント体制

当社グループでは、取締役会の下に「リスク管理委員会」を設置し、委員会の下に「リスク管理部会」を設置しており、リスクの把握および回避・低減・未然防止に取り組んでいます。リスク管理部会は原則月1回開催し、次の事項に関する職務を行います。

1. リスク管理の推進に関する方針案および活動計画案の策定
2. リスク管理案の策定・実施および関係する基本方針・社内規程等の制定・改廃案の策定
3. リスク管理推進計画およびリスク管理に関する進捗状況の管理並びに評価・検証の実施
4. 当社事業に関連する重要なリスク管理に関する法令の制定・改廃および行政や社会の動向の調査・研究
5. リスク管理に関する社員教育計画および啓発策の策定・実施
6. ステークホルダーに対する危機管理事象への取り組み状況の開示・コミュニケーションの実施
7. その他当社グループ全社に対する危機管理事象に関する指示・情報連携

#### ▼リスク管理委員会

委員長	代表取締役会長
副委員長	代表取締役社長
委員	取締役、監査役、執行役員、委員長が指名する者
事務局長	安全環境品質担当役員
事務局	安全環境品質グループ、総務CSRグループ

リスクマネジメントに関する詳細は Webサイトをご覧ください。



### ●情報セキュリティ対策

当社グループでは、「NITTAグループ情報セキュリティ方針」に基づき、情報資産の機密性・完全性・可用性を確保するとともに、DX推進に向けたゼロトラストに対応した情報セキュリティ管理体制の強化に取り組んでいます。

#### 1. セキュリティポリシーの整備

「情報セキュリティ管理規程」や「IT利用ガイドライン」の改定を通じ、DX推進に対応した情報管理体制を構築し、システムの運用の適正化を図っています。

#### 2. ゼロトラストモデルの構築

多層防御を導入し、ユーザー・デバイス・アプリケーション・ネットワークの全てに対して検証を原則に、ID侵害やサイバー攻撃への対応力を強化しています。

#### 3. 多要素認証とアクセス制御の強化

多要素認証の展開とアクセス権限の適正化に加え、脆弱性分析を通じてリスクの早期発見と対策を実施しています。

#### 4. クラウド活用とネットワーク構築

SD-WANの導入により柔軟かつ安全なネットワーク構成を構築。社内LANの改善やIT/OT統合を通じて、ネットワークの利便性とセキュリティの両立を図っています。

#### 5. 情報セキュリティ教育と意識向上

国内外の全社員を対象に、eラーニングやメール訓練、インシデント対応教育を実施。また、改正個人情報保護法など法令遵守体制の強化も含め、実効性のある教育を推進しています。

#### 6. グローバル対応強化と展開

国内外拠点でのセキュリティ対策の標準化とBCPバックアップ体制の整備により、リスクの高い環境への対応力を高めています。

## 株主・投資家とのかかわり

### ●情報開示

#### 積極的かつ公正な企業情報の開示

当社グループは多様なステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、企業情報を積極的かつ公正に開示します。また株主や投資家に対し、ルールに則って適時かつ適切に企業情報を開示し、透明性の高い経営を目指します。

#### 適時開示にかかわる社内体制

情報開示に関する具体的な手続きおよび報告体制について、「重要情報の管理および開示規程」を制定し、それに基づく情報開示を実施しています。情報開示には、東京証券取引所の適時開示システム(TDnet)を用いています。